

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
声優・演劇科											
卒業制作											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	120	単位	4
担当教員	竹本敏彰、室生春			実務 経験	有	職種	俳優(共通)、演出家(共通)				
授業概要											
卒業制作作品に出演します。（他学科制作のアニメ・CG・ゲーム・映像・イベントほかを含む）											
到達目標											
舞台実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの集大成と言える授業である。自分の人生ではなく他人の人生を生きる難しさと楽しさが理解できるようになる。自分が表現したい演技の矛盾点にも自発的に気が付けるようになる。照明や音響を使い、決められた動きの中で生きた芝居が行えるようになる。発表までの過程を学ぶ事で、役作りとは何か、芝居とは何か各々答えを見いだせるようになる。											
授業方法											
卒業公演は基本的にダブルキャストで行うため、A班、B班にチームを分けて行う。2年間の集大成である卒業公演に向けて、基本的には今まで学んだ事を活かし自ら気が付いていく授業にしていきたい。演出と学生達が考えた表現を融合し、作品の面白さを追求していく。授業は「荒立ち稽古」「通し稽古」「最終的なリハーサル」「本番」で構成している。											
成績評価方法											
練習から発表までの伸び率、また真剣に授業に向き合っているか、積極的な授業参加度、日々の鍛練等、総合的に評価する。											
履修上の注意											
授業態度（特に居眠りや私語）に関してはかなり厳しく対応する。ひとりひとりの学生に割り当てられた役が大事な物語構成員であることを理解し授業参加意識の欠落を招かないこと。また、「通し稽古」に入ってから連絡のない遅刻・欠席に関しては配役の変更、降板をすることもある。そして、割り振られた役割分担を責任を持って成し遂げること。尚、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することはできない。											
教科書教材											
卒業制作課題戯曲（台本）を配布する											
回数	授業計画										
第1回	卒業制作用戯曲を創り上げる（1）										
第2回	卒業制作用戯曲を創り上げる（2）										
第3回	卒業制作用戯曲を創り上げる（3）										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
声優・演劇科	
卒業制作	
第4回	荒立ち部分稽古（1）
第5回	荒立ち部分稽古（2）
第6回	荒立ち部分稽古（3）
第7回	荒立ち部分稽古（4）
第8回	荒立ち部分稽古（5）
第9回	荒立ち部分稽古（6）
第10回	荒通し稽古（部分返し）（1）
第11回	荒通し稽古（部分返し）（2）
第12回	荒通し稽古（部分返し）（3）
第13回	通し稽古（1）
第14回	通し稽古（2）
第15回	最終的なリハーサル

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
声優・演劇科	
卒業制作	
第16回	本番（1）
第17回	本番（2）
第18回	合評会